

地域活性化を担う産学官連携－応用物理学の役割－

開催趣旨

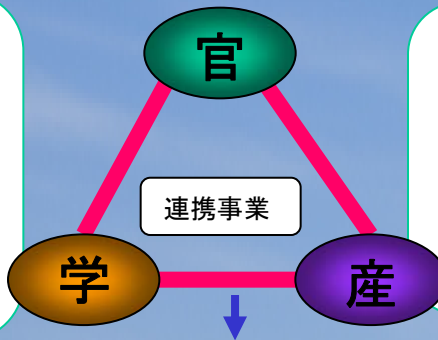
現地実行委員会企画

産学官連携は、現在、地域活性化の担い手として、不可欠な役割を担っている。その中で、電子材料、ナノテクノロジー、計測分析技術など応用物理学の諸分野も重要な位置を占めている。ここでは、主に富山地域における産学官連携による各種事業を紹介し、地域活性化に貢献する産学官連携の現状を概観する。さらに、今年度から新たに、文部科学省と経済産業省の共同の取り組み事業である「産学官連携拠点」事業がスタートし、産学官連携の一層の機能強化が期待されている。それらの紹介を通して、今後の産学官連携の方向性を探りたい。

各種産学官連携事業の現状

文部科学省

- 共同研究(S.62)
- ◎人材育成
 - ・ものづくり技術者育成(H.19)
 - ・社会人の学びなおしニーズ対応教育推進プログラム(H.19)
- ◎プロジェクト研究
 - ・知的クラスター創成事業(H.14)
- 産学官連携戦略展開事業(H.20)



経済産業省

- 大学の技術移転(TLO)
- 地域イノベーション創出研究開発
- 戦略的基盤技術高度化支援事業
- ◎人材育成
 - ・産学連携人材育成事業(H.20)
- プロジェクト研究
 - ・産業クラスター形成事業(H.13)

◎産学官連携拠点事業(H.21)

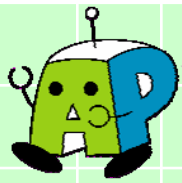
- ・地域中核産学官連携拠点
- ・グローバル産学官連携拠点

- ・産学官連携機能の一層の強化
- ・地域活性化への更なる貢献

連絡先

〒930-0866 富山市高田529
 (財)富山県新世紀産業機構
 理事・中小企業支援センター長
 龍山智榮
 TEL : 076-444-5616, 090-9449-4659
 e-mail :tatsuyama@tonio.or.jp

雨晴海岸から見る立山連峰



2009年第70回秋季応用物理学会学術講演会

特別シンポジウム

「産学官連携と応用物理学」

昭和62年に富山大学、神戸大学、熊本大学に初めて地域共同研究センターが設置されて以来、国内各地域において産学共同研究は急速に進展してきた。その中で、材料、ナノテクノロジー、計測など応用物理学の諸分野も大きな役割を担ってきた。当初、大学と企業等による個別的共同研究が主な事業であったが、近年産学官の連携による、ものづくり技術者育成支援、知的クラスター創成、産業クラスター形成など教育、研究両面における各種施策の推進が図られている。さらに、平成21年度から、「地域の競争力強化や新産業創出を目指し、産学官連携による持続的、発展的にイノベーションを創出する仕組みの構築を図る取組を支援するため」、文部科学省と経済産業省の共同による「産学官連携拠点」の形成事業がスタートするなど、「科学技術による地域活性化戦略」の担い手として産学官連携の一層の機能強化が求められている。

このような状況を踏まえ、本シンポジウムでは先ず、特別講演として、文部科学省に「産学官連携拠点」形成事業の概要についてご説明いただく。また、富山県の立地条件を背景とした特徴ある研究の例として、「世界環境縮図モデルとしての高低差4000m水の循環」と題して、富山大学張勁教授に講演いただく。その後、富山地域を中心とした産学官連携による人材育成事業例、ほくりく健康創造クラスター（平成20年度富山・石川地域知的クラスター事業）におけるバイオセンサ関係の研究・開発事例を紹介していただく。合わせて、今後の「産学官連携」の方向性を探って行きたい。

日時

2009年9月8日(火) 13:30~16:30

会場

富山大学 黒田講堂ホール(X会場)

参加費

無料

一般公開(無)

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 1. はじめに | 応用物理学会 会長 石原 宏 | 13:30-13:35 |
| 2. 特別講演 | | |
| | ・「産学官連携拠点」形成事業について | 13:35-14:00 |
| | 文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課長 柳 孝 | |
| | ・世界環境縮図モデルとしての高低差4000m水の循環 | 14:00-14:25 |
| | 富山大学大学院理工学研究部環境・エネルギー学域 教授 張 勁 | |
| 3. 産学官連携による人材育成 | | |
| | ・とやま技術者育成協議会 | 14:25-14:45 |
| | 富山大学大学院理工学研究部環境・エネルギー学域 教授 升方勝己 | |
| | ・若い研究者を育てる会 | 14:45-15:05 |
| | 富山県工業技術センター 前所長 谷野克巳 | |
| | 休憩 | 15:05-15:10 |
| 4. 「ほくりく健康創造クラスター」に見るセンサ開発 | | |
| | ・高速バイオAFM（原子間力顕微鏡）の開発 | 15:10-15:35 |
| | 金沢大学理工研究域数物科学系 教授 安藤敏夫 | |
| | ・SQUIDを用いた磁気イメージング装置の開発 | 15:35-16:00 |
| | 金沢工業大学先端電子技術応用研究所 教授 上原 弦 | |
| | ・疾患や健康維持に関与するアミノ酸計測用酵素センサの開発 | 16:00-16:25 |
| | 富山大学大学院理工学研究部生命・情報・システム学域 教授 篠原寛明 | |
| | 富山県立大学工学部生物工学科 教授 浅野泰久 | |
| 5. おわりに | 現地実行委員会委員長（富山大学名誉教授） 龍山智榮 | 16:25-16:30 |